

システム全体に共通で関係する各種設定を行います。

■ 導入設定・規定値設定

項目名	設定値
1 導入開始日	
2 在庫開始日	2015/01/01
3 決算月日	1299
4 入力可能年月日自	2018/05/01
5 入力可能年月日至	2999/12/31
6 受発注入力可能年月日自	
7 受発注入力可能年月日至	2999/12/31
8 税算出法	一括税
9 得意先税計算方法	請求時外税
10 仕入先税計算方法	支払時外税
11 消費税コード	ZEIKIN
12 標準課税売上コード	課売
13 標準課税仕入コード	課仕
14 伝票初期表示担当者	マスター設定担当者
15 得意先別商品単価	得意先別商品単価を使用する
16 仕入先別商品単価	仕入先別商品単価を使用する
17 締切と同時に確定する	する

【件名を使用する】各入力画面で件名を使用するかどうかを、 する/しない から指定します。

更新 (F5) 取消 (F6) 終了 (F12)

設定方法:

画面起動時は、「導入設定・規定値設定」が表示された状態となっています。
(上部ボタンで会計連動設定との切り替えができます)

必要箇所を直接修正し、「更新」ボタン押下で設定更新となります。

「取消」ボタン押下すると、更新せずに入力内容がリセット表示されます。
「終了」ボタン押下すると、更新せずに画面を閉じます。

各項目説明:

項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明 (下線箇所は選択値の初期設定値です)
導入開始日		●	ふくろう販売の本番開始日を年月日指定します。通常は導入時に設定されていますので、特に指定する必要がありません。
在庫開始日	●		在庫管理する全商品の在庫開始日を設定します。この日以降のデータが在庫で集計されます。
決算月日		●	会社の決算月日です。mddd形式で指定してください。(日部分は1~27,末日=99で指定してください)。導入時設定済ですので、通常は設定変更する必要がありません。
入力可能年月日自	●		受注発注伝票以外で、これ以降の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します
入力可能年月日至	●		受注発注伝票以外で、これ以前の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します
受発注入力可能年月日自	●		受注発注伝票で、これ以降の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します。
受発注入力可能年月日至	●		受注発注伝票で、これ以前の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します。
税算出法	●		会計連動している場合に会計に流れる消費税の単位を、一括税(締切時税計算)/調整税(明細毎税計算) から選択します。
得意先税計算方法	●		得意先の新規登録時の税計算法初期値を、請求時外税/行毎外税/税計算なし から使用頻度の高いものを選択します。
仕入先税計算方法	●		仕入先の新規登録時の税計算法初期値を、支払時外税/伝票毎外税/税計算なし から使用頻度の高いものを選択します。

各項目説明:

項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明 (下線箇所は選択値の初期設定値です)
消費税コード		●	消費税の商品コードを文字列で指定します。初期値では「ZEIKIN」で設定されており、通常は設定不要です。
標準課税売上コード		●	商品登録で初期表示される課税区分(売上)の初期値を課税区分リストから選択します。通常は課税売上で設定されていますので設定不要です。
標準課税仕入コード		●	商品登録で初期表示される課税区分(仕入)の初期値を課税区分リストから選択します。通常は課税仕入で設定されていますので、設定不要です。
伝票初期表示担当者	●		伝票新規登録時の営業担当者初期値を、 <u>マスター設定担当者</u> /ログイン担当者 から採用したい方選択します。
得意先別商品単価	●		受注、売上で使用する得意先別商品単価を、 <u>得意先別商品単価を使用する</u> /使用しない から選択します。
仕入先別商品単価	●		発注、仕入で使用する得意先別商品単価を、 <u>仕入先別商品単価を使用する</u> /使用しない から選択します。
締切と同時に確定する	●		請求締切処理の実行と同時に請求確定するかどうかの確認メッセージ表示を、 <u>する</u> /しない から指定します。
原価割れチェックをする	●		受注、売上登録時に原価割れチェックをするかどうかを、 <u>しない</u> /警告/エラー から選択します。 エラー選択だと、金額より原価が多い場合は伝票更新ができません。
在庫チェックをする	●		受注出荷、売上・入出庫更新時に営業在庫数が最低在庫を下回る、または最大在庫を上回るチェックするかどうかを、 <u>しない</u> /警告/エラー から選択します。エラー選択だと、条件満たす場合は伝票更新ができません。
入金同時消込する	●		入金登録時に自動的に個別入金消込画面を表示するかどうかを、 <u>する</u> /しない から選択します。 「しない」とすると、元帳に消込情報も表示されなくなります。
支払同時消込する	●		支払登録時に自動的に個別支払消込画面を表示するかどうかを、 <u>する</u> /しない から選択します。 「しない」とすると、元帳に消込情報も表示されなくなります。
原単価を発注・仕入単価にする	●		受注原単価、売上原単価を発注単価や仕入単価として表示するかを指定します。
仕入入力で発注No入力必須		●	仕入入力で発注Noを必須入力にするかを指定します。
一括税伝票の修正・削除する	●		「する」にすると売上入力、仕入入力で請求時一括税・支払一括税の伝票を修正・削除ができます。
仕入で入荷区分を自動変更	●		発注→仕入で分納があり、仕入数量変更時に全数を一部に自動変更するかを指定します。
受注入力で見積原単価を引き継ぐ	●		受注入力で見積原単価を引き継ぎます。
出荷時の売上計上日	●		出荷時に売上伝票を作成する場合に売上計上日となる日付を設定します。
検収入力で整備売上が同時計上する	●		検収入力時に同時に整備売上・売上データを作成するかを設定します。
検収で整備済初期値「引取数 - 減損数」	●		検収入力で整備済数の初期値を「引取数 - 減損数」とします。
検収日の初期値を空白とする	●		検収日の初期値を空白とする場合は「する」、本日日付を初期表示する場合は「いいえ」を指定します。
履歴管理			伝票の入力履歴を残すかどうかを、 <u>する</u> /しない から選択します。伝票登録後は変更できません。通常は設定不要です。
棚卸評価法	●		商品の新規登録時に初期採用される棚卸評価法を、 <u>最終仕入</u> /在庫単価 から選択します。
原価計算法	●		商品の新規登録時に初期採用される原価計算法を、 <u>標準原価</u> /最終仕入 から選択します。
支払済伝票の修正	●		支払締切後、その締切期間内の仕入、支払データの修正を許可、 <u>する</u> /しない から選択します。
入力画面のマス参照コード初期設定	●		入力画面のマス参照時に入力中のコードを検索文字に初期設定し、そのコードで「始まる」検索を初期表示、 <u>する</u> /しない から選択します。
検索画面の事業所初期表示	●		各検索画面の事業所絞込み条件の初期値を <u>絞込みなし</u> /ログイン担当者の事業所 から選択します。
受注、売上入力の商品検索	●		受注、売上入力の商品検索の絞込み初期表示を、 <u>絞り込みなし</u> /事業所で絞込み/得意先で絞り込み から選択します。
伝票検索画面、即検索実行	●		伝票検索画面の初期表示時に検索実行 <u>する</u> /しないを指定します
マス検索表示件数	●		マス検索画面の一覧表示件数を指定します。0に指定すると全て表示します。
伝票検索表示件数	●		伝票検索画面の一覧表示件数を指定します。0に指定すると全て表示します。
表示設定を担当者別に設定	●		入力画面の表示項目設定を担当者別に設定するか、しないかを設定します。

各項目説明:

項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明（下線箇所は選択値の初期設定値です）
単価の小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の単価の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
数量の小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の数量の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
重量の小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の重量の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
単価の小数点以下丸め桁	●		単価を計算で求めた場合の小数点以下丸め桁数を指定します(0~4)
数量の小数点以下丸め桁	●		数量を計算で求めた場合の小数点以下丸め桁数を指定します(0~4)
重量の小数点以下丸め桁	●		重量を計算で求めた場合の小数点以下丸め桁数を指定します(0~4)
単品管理番号タイトル	●		単品管理商品のタイトル(管理番号)のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品画像フォルダ	●		商品の画像指定で使用するフォルダを絶対パスで指定します。パスは全クライアントから共通で参照できるパスとしてください。
日割単価端数計算方法	●		レンタル種別が「月極日割」の月数÷30で日割単価計算する際の端数処理する方法を <u>単価算出時</u> /金額算出時 から選択します。
保証日数の登録先	●		保証日数の登録先を指定します。(得意先、商品)
保証請求区分の初期値	●		得意先マスタ登録時の保証請求区分の初期値を指定します。(入庫時、出庫時、不要)
得意先区分名1	●		得意先区分1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名2	●		得意先区分2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名3	●		得意先区分3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名4	●		得意先区分4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名5	●		得意先区分5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名1	●		仕入先区分1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名2	●		仕入先区分2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名3	●		仕入先区分3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名4	●		仕入先区分4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名5	●		仕入先区分5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名1	●		商品区分1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名2	●		商品区分2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名3	●		商品区分3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名4	●		商品区分4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名5	●		商品区分5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名1	●		商品分類1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名2	●		商品分類2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名3	●		商品分類3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
整備商品CD	●		検収入力時の整備1売上で自動セットする商品コードを指定します。指定した商品の略名が整備1売上の項目タイトルとなります。
社内整備1タイトル	●		検収入力時の社内整備1の整備項目タイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
社内整備2タイトル	●		検収入力時の社内整備2の整備項目タイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
社内整備3タイトル	●		検収入力時の社内整備3の整備項目タイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。